隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区南森町2－3－30
郵便番号　530・0054
電話　06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号　104・0042
電話　03（3552）3756-4031
名古屋市中区丸の内2・10・11
リブラ丸の内6　305号
郵便番号　460・0002
電話　052（221）5391㈹
（支　局）広島・福岡
© 食品新聞社 2019
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料　半年33,346円

# ローソン　食品ロス削減へ

## "もう一つの選択"を

## 子ども支援にも一役

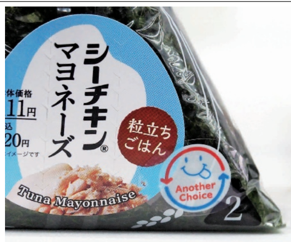
ローソンは食品廃棄ロスの削減へ、新たな取り組みを開始する。「Another Choice（アナザーチョイス）」と名付けられたこの施策では、専用シールを貼った中食商品の消費期限が近付くと、購入金額100円につき5ポイントを付与。子育て世帯や困窮する子どもの応援にも、支援団体などを通じて5%を寄付する。

竹増社長（中央㊨）と愛媛県・中村知事（同㊧）

同社では年間4・4万tの食品ロスが発生しており、削減に向けてセミオート発注による発注精度向上や鮮度管理の徹底などを行ってきた。今春からは「売り切りオペレーション」として、FFの値引き販売にも着手。今回は取り組みをさらに進化させる。

17日の発表会で竹増貞信社長は「日本全体で年間643万tの食品が廃棄されている一方、おなかいっぱい食べられない子どもが7人に1人いる。これはOECD加盟35か国中でワースト。値引きで廃棄を減らすだけでなく、社会の役に立つことにつなげられないかと考えた」として、食品ロス削減と子どもへの支援に顧客とともに取り組む考えを表明した。

現状では、より鮮度の高い商品を求めて棚の奥から取ろうとする顧客が多い。新たな施策では1日3便のうち朝・昼に納品されるおにぎり・弁当に、あらかじめシールを貼付。午後4時以降になると「PONTA」などのポイントを付与し、食品廃棄を減らして子どもを支援する"もう一つの選択"を促す。廃棄ロス削減で加盟店の利益向上にもつなげる狙いだ。



おにぎりに貼られたシール

6月11日～8月末にかけて、愛媛・沖縄の両県で実証実験を実施。エリアは順次拡大し、効果を検証した上で来年以降に全国に拡大する計画。他の施策とも合わせ、30年までに食品ロスを半減させることを目指す。

愛媛県での取り組みでは、売上げの5%を子育て応援ファンドに寄付。沖縄県では子どもたちの食事を支援する団体に寄付する。

愛媛県の中村時広知事は「子育て支援は非常に重要であり、これからは官民協力が大きなカギを握る。今回、県内で子育て応援ファンドを設立することとなり、ローソンにはタイアップへ声をかけていただいた。心から感謝申し上げる」として期待感を表明した。

---

# 業界関係者ら受章

### 春の褒章

## 多年の功労称える

政府は令和元年春の褒章受章者を発表した。本紙関係の受章者は次の通り（敬称略／順不同）。

◇農林水産省関係

黄綬褒章＝葛巻治（南部家敷社長）、伊藤惠子（はなやか代表取締役）、小坂芳則（セントライ青果社長）、市丸道雄（百姓屋代表取締役）▽藍綬褒章＝小川眞也（日本給食品連合会副会長）、林剛一郎（全国削節工業協会副会長）、本坊治國（元日本スターチ・糖化工業会会長）

◇厚生労働省関係

黄綬褒章＝井上明彦（井筒屋料理長）、築山明（横手市民市場かまくら割烹顧問）、中本聡文（資生堂パーラーロオジエシェフソムリエ）、安田宣久（国分酒造製造部統括部長）

---

### 國分勘兵衛

## 平成を語る《9》

## 大規模災害に学ぶこと

平成7年〈1995〉の阪神淡路大震災、平成23年〈2011〉の東日本大震災を筆頭に、平成期には大規模な自然災害が多発した。地球規模の気候変化を背景に、日本は今後も大小様々な災害と向き合っていくことになろう。ライフラインたる食のサプライチェーンの役割はますます重みを増していく。しかし、経営効率とBCPの両立をはじめ、難しい課題も多い。

※　※　※

――平成は多くの災害に見舞われた時代でした。食品業界には今後どんな対策が求められますか。

「備蓄と供給継続のあり方をもう一度よく考えるべきだと思います。必需性の高い物資をいかに在庫し、どのように被災地に届けるか。これはとても難易度の高い問題です。どこで何が起きるのかが読めないわけですから、私たち民間企業が適正な備蓄量や保管場所を導き出すのは容易なことではありません」

――昨年の北海道胆振東部地震では、広域停電の影響で道内の大半の食品物流拠点が一時停止に追い込まれました。エリアに十分な在庫があるのに供給が滞ったのは、恐らく初めてのケースです。

## 難易度高い最適備蓄

## 政府は民間流通にも目を

「保管場所や復旧のあり方について踏み込んだ議論が必要になるでしょう。また、サプライチェーンの備蓄に厚みを持たせるにしても、そのコストを誰がどう負担していくのかという悩ましい問題があります。今は製配販すべての層が在庫をなるべく持たない経営を志向しており、備蓄によって生じる倉庫代の増加やキャッシュフローへの影響は経営上のリスクということになってしまいます。これをどう解決するかは今後の大きな課題です」

――流通在庫に厚みを持たせることで、期限切れ廃棄のリスクも高まります。

「そういう意味でも食品ロス削減の話の中で触れた賞味期限の延長がますます重要になるでしょうね」

――供給継続については具体的にどんな課題がありますか。

「いざ災害が発生すると、どうしても政府による避難所への救援物資の供給に比重が行き、私たち一般のライフラインに目が行かなくなってしまうところがあります。避難所には家族や住む家を失った方々が集まっているわけですから、最優先に考えるのは当然ですが、その一方で自宅にいて近くのスーパー、コンビニを頼りにされる方も沢山いらっしゃるわけです」

――東日本大震災のときも、被災3県（岩手、宮城、福島）全体の93・5%が避難所に行かずに自宅などで不自由な生活を強いられた方々でした。

「そうした現実を踏まえ、一般のライフラインが災害時に供給継続に注力できるような環境づくりを進めておくべきだと思います。食品物流の優先順位をさらに引き上げる必要もあるでしょうね」

――少し話題が変わりますが、平成の米騒動（平成5年〈1993〉）のことを覚えていらっしゃいますか。

「ええ。大変な冷害でタイ米の緊急輸入という異例の事態になりました。国内需給への影響度という意味では、先ほどの世界食料価格危機よりも深刻だったのではないでしょうか」

――ここ数年、大型台風や集中豪雨の影響で青果相場の乱高下が常態化しています。平成の米騒動のような事態になる可能性もゼロではありません。今後の農業生産のあり方をどうお考えですか。

「やはり、民間の知恵が入りやすいように規制緩和を進めていくべきなんでしょうね。ただし、大量生産的な発想だけでは上手くいかないと思います。付加価値の創出に敏感なベンチャーをいかに多く取り込めるかがカギになるでしょう」

（次号に続く）

---

**きょうの主な内容**

「総合流通特集　PART1」
（量販、CVS展望　5面）
（CVS各社の動向　6～7面）

---

### プリマハム　滝沢ハム

# 生産・販売などで提携

## 相互の強み生かす

プリマハム（東京都）と滝沢ハム（栃木県）は13日、生産・販売・調達などの広範な分野で業務提携を行うことで合意した。原料価格や物流コスト、人件費の高騰など厳しい環境が続く中、両社の強みを生かした経営効率化と収益性向上を目指す。

それぞれに強いカテゴリーで相互OEM供給を行い生産効率化を進めるほか、両社の販売チャネルを生かして商品ラインアップの拡充や取扱商品の交流、共同販売などを実施。また原材料や副資材、包装資材などの共同調達により仕入れ原価の削減を図る。

プリマハムの千葉尚登社長は「先方が得意な商品や販売ルートと、その逆に当社が強い部分とを組み合わせる。先方からは当社のマーケティング力にご期待いただいており、当社としても相対的に不得手な商品に期待している」と説明。プリマハムが比較的弱いローストビーフなどでは滝沢ハムの強みが活用できるほか、関東やその近県が販売の中心である滝沢ハムにとっては、プリマの販売網を生かして西日本などへの展開が期待できそうだ。

---

### 丸大食品

# 次期社長に井上専務

丸大食品は14日に開催した取締役会で次期社長に井上俊春専務取締役資材部、ロジスティック部、中央研究所担当、営業本部長、ハムソー事業本部長が内定した。百済徳男社長は同社代表取締役会長に就任。いずれも6月27日に開催予定の株主総会、株主総会後の取締役会で正式に決定される。

井上新社長

井上氏は1975年10月に入社。執行役員関東統括営業部長兼東京支店長、常務取締役営業部長などを歴任したあと2014年6月に丸大サービスに代表取締役社長として出向。18年6月からは現職。

---

## 逆光線

岩手塩元売・東日本ソルトの宮澤啓祐社長が逝去した。故宮澤氏は宮澤賢治の親戚関係にあり、自身が宮澤賢治記念館の館長も務めていた。名刺を頂くと、その裏には幾つもの企業・団体の肩書きが並んでいたのを思い出す。それだけ東北経済界の重鎮であった▼宮澤氏は専売制度廃止以降の塩流通の中心として、業界をリードする役割を担ってきた。数年前に病を患って以降は、次の世代にバトンタッチし、表舞台からは徐々に遠のいていた気がする▼日本塩工業会の相澤英之会長も逝去された。相澤氏は大蔵省官僚から衆議院議員となり「予算は夜つくられる」など執筆活動もしていたので、知っている人は多い。相澤会長は戦中下の中国で塩がいかに貴重な物資であったか、会合等でよく話しておられた▼今や空気や水のように当たり前の存在である塩だが、戦中戦後を経験した人にとっては違う。塩業界の人にとって、国民に対して塩に不安を抱かせることなく仕事をし続けてきたことが最大の矜持である。当たり前にあるものほど、その素晴らしさを伝えることは難しい。

Bull-Dog
ソースはやっぱり
ブルドック

タテ ソース　超・激辛
カプサイシン100倍（当社比）
タテソース
辛いだけじゃないヨ！おいしいヨ！
●少量加えてお好みの辛さに、激辛メニューに
カレー・お好み焼・焼そば他　360㎖／900㎖／1.8ℓ
株式会社　豊島屋
TEL086(522)2148　FAX086(522)2149
Eメール　info@teshimaya.co.jp

カレーの流れを変える！
ハイグレード21
カレールウ
T.O テーオー食品株式会社TT
本社　東京都豊島区南長崎1-2-4
NET 1kg

HAPPY MENU TO YOU!
料理の時間はわたしの時間
なんだかうまくいかない そんな日は
どんな時も どんな料理も
いつものように キッチンに立ってはじめよう
気持ちは 晴れるさ！
ほら いつものわたしができあがり

料理には、
不思議な力が
きっとある。

なんてことないふつうの日も。
すこし落ち込んだ日も。
料理をはじめると、だんだん、
こころが軽くなる。
いつもの調子がもどってくる。
私たち日清製粉グループは、料理が持つ、
その不思議な力を信じています。
手軽につくれるメニューも。
手の込んだメニューも。
365日、あなたにしあわせを届けられるように。
日清製粉グループは、
さまざまな商品で寄り添いつづけます。

日清製粉グループ

https://www.nisshin.com/happymenu/